

令和3(2021)年度 第1回かしわざきこども大学運営協議会 議事録

- * 日 時 令和3(2021)年5月25日(火) 午後6時30分～午後7時55分
- * 会 場 柏崎市役所 1階 多目的室
- * 出席委員 9名 長谷川智委員、片桐秀樹委員、山崎高美委員、前澤佳奈子委員、遠山みちる委員、松谷久美子委員、川本浩子委員、土田由紀委員、松木万里央委員
- * 欠席委員 なし
- * 事務局 8名 飯田博教育部長、【学校教育課】池田弘課長、小山勲課長代理、平野克之副主任、横田則子主査【保育課】栗林弘至課長代理【商業観光課】佐藤淳主査、佐藤駿介主事

1 開会 司会：学校教育課課長代理

皆さんの机の上に人事発令通知書を配置した。令和3(2021)年度から令和4(2022)年度の2年間の任期となる。よろしくお願ひしたい。

本日、全員出席いただいております、かしわざきこども大学運営協議会設置条例第6条第2項に規定の委員の過半数を満たしていることを報告する。

2 挨拶 教育部長

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、初回の会議が7月となったが、今年度は、改選に伴う3名の新しい委員を迎えて5月に開催できたことは、こども大学の様々な事業を進める上で、大変重要であり、喜んでいる。

また、今期も継続していただく委員の皆さんには、引き続き委員を引き受けていただいたことに感謝申し上げます。これまでの経験を基に、かしわざきこども大学の発展のため、お力添えをお願ひしたい。

かしわざきこども大学は、平成19年度(2007年度)にスタートした事業であり、今年で15年目の節目を迎えた。初年度、小学1年生だったお子さんが、昨年度、あるいは今年、成人式に参列される年齢になっている。今では、未就学児、小学生、中学生、あるいは18歳以下を対象を分けての各コースと、こどもの笑顔創造プロジェクト、学校教育活動推進事業を実施している。個人的な意見ではあるが、今後成人式に参列される新成人の皆さんに、かしわざきこども大学の事業が、それぞれの皆さんの人生にどのような影響を与えているのかを聞いてみたい。生の声を聴くことが、今後の事業展開を考えていく上でも重要と考えるが、委員の皆さんはどのようにお考えになられるか。

蛇足ではあるが、改正民法の施行に伴い、来年4月1日から成人年齢が18歳以上となる。そのため、かしわざきこども大学の事業対象も17歳以下となることを承知いただきたい。

本日は、よろしくお願ひしたい。

3 委員・事務局自己紹介

委員名簿の順に自己紹介。

4 会長および副会長選出

かしわざきこども大学運営協議会設置条例第5条により、選出。

立候補者なし。

事務局から次のとおり提案。

会 長 長谷川 智委員

副会長 前澤 佳奈子委員

全会一致で承認。

挨拶 【長谷川会長】

引き続き会長を務めさせていただく。今年度、3名の委員の方が新たに委嘱され、新しい視点で事業について貴重な御意見いただけていると思っている。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な事業が中止や延期となった。今年度の事業は魅力のあるものばかりなので、ぜひ実施ができるよう願っている。皆さんの貴重な御意見を願います。

挨拶 【前澤副会長】

副会長を務めさせていただく。新しい方々も仲間に加わり、ベテランの方もおられるので、かしわざきこども大学の発展のため頑張っていきたい。よろしく願います。

5 議事 進行：会長

(1) 令和2年度（2020年度）決算について 【事務局】

・コース全体について

資料 令和2年度（2020年度）かしわざきこども大学決算書に基づき説明。

・キャリア教育コース

資料 令和2（2020）年度キャリア教育コース実施校・支出額に基づき説明。

新型コロナウイルス感染症の影響により、第二中学校・東中学校は中止。

第二中学校はキャンセルが実施日間近だったため、キャンセル料が生じた。

・ロボット工作コース 新潟工科大学に委託。8月・10月・3月にロボット工作教室を開催。

・科学・実験コース STKサイエンスを楽しむ会が運営・実施。

未就学児（年中・年長児）を対象に親子おもしろ体験教室2回開催

・こどもの笑顔創造プロジェクト 交付対象 8団体 補助金合計 1,521,000円

・運営協議会 令和2（2020）年7月、10月、令和3（2021）年3月に計3回実施。

・学校教育活動推進事業 【平野副主幹】

各学校のクラス数に応じて交付金を支出。大きな学校で34万円程度、小規模校で16万円程度。

それぞれの学校が事業計画を基に実施。新型コロナウイルスの影響で、予定していた事業が出来なかった学校もあったが、費目の変更を行うなどして、事業費を有効に使って事業を進めた。

－質疑・応答－

【委員】 こどもの笑顔創造プロジェクトについて、概算払いは団体によって請求するところとしないところがあるのか。

【事務局】 補助金は、事業執行した後、実績報告書を提出いただき、その後に補助金を交付するのが一般的。団体によっては、そもそも事業を執行するための資金がないところもある。事前に概算払いという形で、交付決定額の4分の3以内の額と請求月の翌月から6か月間に必要な補助金所要額のいずれか少ない額の範囲内で補助金を請求することができる。そのため、概算払いが必要な団体とそうでない団体がある。

概算払いを請求した団体は、実施報告後、補助金決定額と概算払いで支出した額の差額を交付することになるため、合計では補助金決定額と同額となる。

【委員】 学校教育活動推進事業について、交付金の各学校での内訳を資料としてもらえないか。

【事務局】 小学校は、14万円+8,000円×クラス数交付している。6学級あれば、14万円+8,000円×6学級、中学校は、13万円+8,000円×クラス数となる。

(2)令和3年度(2021年度)実施予定事業、予算について 【事務局】

・各コースの概要、予算について

- ① 自然体験コース 今年度は、感染症対策を講じた上で実施。
- ② キャリア教育コース
いきいきゲームについては、当初15クラスで見込んでいたが、希望校が16クラスあったため、16クラス分の予算を計上している。
- ③ ロボット工作コースは、1,360,000円で新潟工科大学に事業委託。
- ④ 科学・実験コースについては、当初、STKサイエンスを楽しむ会が実施する予定だったが、今年度は諸事情により実施できないため、実施者の公募を行う予定。
- ⑤ ドリームコース 2団体実施予定。

・各コースの実施計画等について

- ① 自然体験コース
昨年度は、やむを得ず中止したが、今年度は、21園、5月から来年1月まで実施。
- ② キャリア教育コース
令和3(2021)年度実施予定学校は、全4校16クラス。
第二中学校・東中学校は、昨年中止になったため2学年分実施予定。
今年度も、新型コロナウイルス感染症への対策を行った上で実施予定。実施した学校からは高い評価を得ている。保護者サポーターの方からも普段の生活とは違った生徒たちのいきいきした姿を見られたと感想が寄せられている。一日の中で学んだことが今後、社会で生きていく中で生かされていくということで、非常に良い事業だと考えている。充実した事業になるよう努めたい。
- ③ ロボット工作コース
令和3(2021)年度は、ロボット工作クラブとロボット工作教室をどちらも実施予定。
- ⑤ ドリームコース
「アニマルウェルフェア教室」 柏崎ファミリードッグ&柏崎ファミリーキャット
「親子でチャレンジ☆ふるさと柏崎の自然や歴史を体感しよう~」 柏崎市青少年健全育成市民会議
- ⑥ こどもの笑顔創造プロジェクト
計10団体が交付申請・決定 補助金合計 2,430,000円

—質疑・応答—

【委員】 いきいきゲームの実施予定校が、令和2(2020)年度と同じだが、希望校に偏りがあるのか、まんべんなく順番にやっているものなのか。

ロボット工作教室で新型コロナウイルス感染症対策をどのように考えているのか。

【事務局】 これまでの実績によると、翔洋中等教育学校、第二中学校、東中学校は、大体毎年実施されている。第五中学校のように人数が少なく、一学年では実施ができない学校は、3年に一度、学校全体として実施している。今年度がちょうど実施予定の年だったため、第五中学校に確認したが、今年度は実施できないと回答があった。

昨年度末の校長会や研究主任研修会でいきいきゲームについてPRをしたが、同じ実施校となった。引き続き、多くの学校に実施していただけるよう働きかけていきたい。

【事務局】 4月22日に、新潟工科大学の先生と該当校の担当者と事務局で会議を行い、新潟工科大学から示された感染症対策を紹介する。

大学から学外活動への禁止が通達された場合は講師の派遣は行わない。実施時も、小学校に到着後、車内でアルコール消毒と新しい手袋の装着、新しいマスクに交換する、ゴム製の手袋を装着し指導を行うなど、感染症対策ガイドラインを確認した上で実施している。

【委員】 保護者サポーターが確保できないから実施できない学校はあるのか。

【事務局】 保護者の方を集めるのがネックになっているという意見もあった。一日時間を拘束されるので確保が難しいということで、令和2(2020)年度からは謝礼を支払うこととした。謝礼があっても、仕事を休んだりするのが難しく保護者の確保が難しいという声をいただいている。保護者の方に参加していただき、ぜひ様子を見てもらいたいが、スタッフが足りないのであれば、商業観光課から動員、外部のボランティアの動員も考えなければならぬと考える。今のところは、どうしても集まらなくて困っているという状況ではない。そもそも実施希望に至らない理由が保護者サポーターにある可能性もあるので、今後も対応策を検討していきたい。

【委員】 自然体験コースでバスの借上料について、感染症対策のため増額とされているが、増額となったのが1.1倍と表記されているのか。

【事務局】 令和2(2020)年度の予算が950,000円だった。今回、感染症対策のため、バスの定員を30名定員としたのでバスの台数が増えた。もともとは、950,000円で済んでいたバス代が、1,100,000円になった。

【委員】 第二中学校と東中学校で昨年度やっていなかった学年を今年、やるというのは学校側からの申し出だったのか。

いきいきゲームを実施するのに、同じものを共有したり、対話をしたりと密になる場面も多い。感染症対策をどのように考えているのか。

【事務局】 先生方には、なるべく広い部屋を用意していただくようお願いしている。教室の窓は開放する。マスクの着用、検温の実施をしている。ゲームが盛り上がると、大声になったり距離が近くなったりすることはある。物理的に離してゲームすることが難しいが、めり張りをつけて実施してもらおう。今年度、可能な対策を学校側と協議し、配慮を行いながらやっていきたい。

【委員】 子どもたちは、普段一緒に生活しているのであまり心配はないかもしれないが、保護者ボランティアは外部から入るので、保護者の方から感染症対策を徹底してい

るのか？と聞かれる可能性もある。ボランティアは手袋をつけて対応する等するとボランティアも安心して参加できるかもしれない。

【事務局】 御意見ありがたい。いろいろな方策を考えていきたい。

【委員】 ロボット工作コースは、130万円という予算がついていて、とても貴重なプログラムだと思う。ロボット工作クラブに参加して、興味を持った子どもたちがもっと学びたいと思ったときに次に進めるものがあるか。実施校だけではなくて市内全ての子どもたちが広く参加できるようにするためにどう考えているか。

【事務局】 中学校では、部活動の技術クラブや授業の技術・家庭科の中でロボットを作成し、ロボットコンテストのような形で県大会や全国大会も行われているという話も聞いている。新潟工科大学の大金先生は、小学生に興味を持ってもらい、ロボット関係の学びに進んでもらえたらとの思いを持っている。興味を持った子どもたちが興味を広げていってもらえたらと思っている。

【事務局】 ロボット工作教室は、市内全域の小学生が対象となるので、チラシや広報かしわざきで、多くの児童に興味を持ってもらえるように呼び掛けたいと考えている。

【委員】 学校教育活動推進事業の事業報告書の事業評価の中で肯定的な評価が高いという学校が多い。地域も参加して活動しており、その分、学校の先生方の苦労もあると思うが、この取組を続けてもらいたい。

子どもたちが将来どう生きるかというのが重要になってきている。キャリア教育コースのいきいきゲームは、体験型シミュレーションゲームで将来を見出すという非常に良い事業だと思っている。PRにも励んでいるが、希望校が多くなり、予算がないから来年まで待ってくれというような状況になっていったら良いと思う。

【委員】 ロボット工作教室は、去年と同じ予算でロボット工作教室もクラブ活動もすることになっている。ロボット工作クラブがない学校の子どもたちも参加できる仕組みになっていてありがたい。来年以降もこの形でやってもらいたい。

科学・実験コースは、公募で行うようだが、どういう方が手を挙げてくれるのかという面もある。公募に対して、全く応募者がいないときどうするか。

【事務局】 これから募集要項を作成する。公募によってどれほどの反応があるかは読めないが、応募者がいない場合には、教育センター科学班と相談し、協力いただきながら事業を計画していきたい。できれば、公募で実施者を募りたい思いはある。

【委員】 ロボット工作クラブの実施回数にばらつきがあるが、作成するものは同じロボットを作るのか。ロボット工作教室は、土曜日の半日しかないが、ロボットを完成させることができるのか。

【事務局】 学校によって回数にばらつきがあるが、進み具合を調整しながら、皆同じロボットを作っていく。ロボット工作教室は、半日の時間で仕上げていくが、昨年度の様子では、まとまった時間に集中して作れるので全員が仕上げることができている。大学生も近くにいるので、分からないことがあればすぐに教えてもらえる環境で製作できる。担当者としては、日程について特に不安は感じていない。

6 連絡事項 【事務局】

7 閉会 学校教育課長

長時間にわたり御意見いただきありがとうございます。活発な御意見をいただいたので、参考にし、今後に生かしていきたいと考えている。

実施報告書の中で、こども大学が目指すものという記載の中で、「学校や家庭だけでは体験できないさまざまな活動を通して子どもたちの生きる力を育む。」「芸術鑑賞や文化鑑賞を通して豊かな感性を育む。」「ともに学ぶ活動を通して、思いやりのある子どもを育てる。」と書かれている。

今年度も7つのコースを実施していくが、それぞれの事業が子どもにとって興味を持たせる、わくわくするような活動にしていきたいし、地域の様々な人と関わる活動を展開していきたいと考えている。その中で、生きる力や豊かな感性、思いやりの心を育んでいきたいと考えている。

子どもたちが柏崎の良さに気づいて、柏崎をもっと好きになるという子どもたちを育てていきたいと思うので、皆様から御協力いただきながらかしわざきこども大学の事業を続けていきたいと考えている。1年間よろしくお願ひしたい。感謝申し上げます。